

創造都市ネットワーク日本（CCNJ）の設立について

1 設立までの経緯と今後の事業

文化庁は、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光、産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む地方自治体を「文化芸術創造都市」と位置付け、平成 19 年度に文化庁長官表彰[文化芸術創造都市部門]を創設しました（横浜市は平成 19 年度に受彰）。

平成 21 年度からは文化庁の文化芸術創造都市推進事業の一環として、「創造都市ネットワーク会議」が開催されてきました。

○創造都市ネットワーク会議 主催：文化庁、NPO 法人都市文化創造機構

- ・平成 21 年度 平成 21 年 9 月 5 日 横浜市で開催
- ・平成 22 年度 平成 23 年 1 月 10 日 神戸市で開催
- ・平成 23 年度 平成 24 年 2 月 4 日 文部科学省講堂で開催

○創造都市ネットワーク日本（CCNJ）設立総会（平成 25 年 1 月 13 日 横浜市で開催）

主催：CCNJ 発起団体(19 自治体)、文化庁、NPO 法人都市文化創造機構

○参加者：平成 25 年 2 月 20 日現在 参加数 合計 48 件

自治体：23 団体

- 幹事団体：鶴岡市、横浜市（代表・事務局）、金沢市、神戸市、篠山市
その他：札幌市、東川町、八戸市、仙台市、仙北市、中之条町、豊島区、新潟市、高岡市、南砺市、木曽町、可児市、浜松市、名古屋市、京都市、舞鶴市、高松市、鳥取県

その他団体：10 団体、個人会員：15 名

今後、CCNJ では主に次の事業を行います。

- 創造都市ネットワーク会議の開催など国内の創造都市間の連携・交流
- 海外の創造都市との交流・国際ネットワークとの連携
- 自治体職員やNPOなど創造都市の担い手の研修や人材育成
- Webサイトの運営による創造都市関連情報の提供・交流
- 創造都市政策に関する調査研究

2 東アジアに向けた文化発信

本市は、CCNJ 幹事団体の代表として、東アジアに向けた文化発信に積極的に取り組みます。また、文化庁では日中韓 3 か国において「東アジア文化都市(※)」を 2014 年より実施することとしており、「東アジア文化都市」の募集を平成 25 年 2 月 15 日から開始しています。

※ 日中韓3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、様々な文化芸術イベント等を実施する。東アジア域内の相互理解・連帯感の形成促進、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を目指す。また、当該都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進し、発展することを目的とする。

開始年である 2014 年は、日中韓で各国 1 都市、合計 3 都市を選定。2015 年以降は、2015 年中国、2016 年韓国、2017 年日本の順に毎年 1 都市を選定。